

いのちを食べて生きている私たち。私たちの生活を支えている農のこと、そして自給自足の暮らしについて、もっと身近に感じてもらおうと連載を始めました。



### 梅の里自然農園 勇惣 浩生さん

日の入りとともにあたりがだんだん暗くなる中、一人の百姓が農作業を終えた心地よい疲労感とともに、今日も一日穏やかで豊かな時間を過ごせたことへの感謝の念が心の底から湧き上がってくるのを感じながら家路に着きます。そういう毎日を自分が送るようになるとは、僕自身数年前まで思ってもいませんでした。まさに、「地球村」そして「自然農」との出会いが、一生をかけて最もしたかったこととは何かを思い出させてくれたのだと思っています。

### 地球村との出会い

僕が高木さん、そして『地球村』と出会ったのは、今から13年前の1996年の春でした。それは、ある方がくれた一本の講演テープがきっかけでした。その高木さんの講演を聞いた僕は、地球環境の危機的な状況にもものすごくショックを受けました。テープが伸びて高木さんの声がおかしくなるほど何回も聴き、講演会やワークショップ、MMにも足繁く通いました。並行して、これからは環境教育が大切だと考え、もう一度学びなおしたいと、教職のまま2年間の国内留学をさせてもらいました。そして、その間に京都精華大学の槌田先生、そして「自然農」の師、川口由一さんとの出会いをいただいたのです。

### 「自然農」とは

「自然農」は草や虫を敵とせず、畑も殆ど耕さず、自然の営みに沿った農のありかたです。もちろん農薬・化学肥料は一切使いません。一般的な有機農業のような動物性の肥料も使わず、田畑やお野菜の状態に応じて、米ぬかとなたね油かすをわずかに使うだけです。

自然界・生命界の営みを壊さないためにできるだけ耕さない事が基本ですから、耕運機などの農業機器も殆ど使わず、くわや草刈鎌による手作業が基本です。日本の自然はもとより豊かですが、時間と共に自ずからさらに豊かになっていくようにできています。その営みを壊さないためには、できるだけ耕さない事が大切になります。自然の営みを壊さず、生命界の絶妙のバランスを保つ事ができれば、農薬や化学肥料を用いなくとも、病気や虫害など困った問題を招く事もないのです。

「自然農」においてもっとも大切なことは、田畑やお野菜の様子をしっかりと観てその時の状態をしっかりと受け止めることです。そして、お野菜やお米が元気に育つための過不足のない手助けをしてあげることです。そうすれば、お野菜はこの上もなく自然で美しい姿に育ってくれます。その様なお野菜お米は、その命もそれ本来のものであり、味わいもまた格別です。そんなお野菜やお米を育てられたときは心からの喜びを感じます。私もまだまだ日々成長の途上ですが、お野菜の手助けの按配をちゃんとつかみ、これからも美味しいお野菜のお届けを続けていきたいと思っています。



この様な「自然農」こそ、この地球環境をこれからも維持していくためには最高の農のありかただと思われませんか?環境に関しては「持続可能性」という言葉が良く聞かれます。エネルギー面においても、循環という面から見ても、「自然農」は「持続可能」な農のありかたです。これこそ「地球村」の考え方にもびったりだと思えます。高木さんと川口さんの思いは同じところに繋がっているのでしょうか。

## 「自然農」の百姓として

3年前に教職を辞して「自然農」の百姓の道へと踏み出しました。今は無農薬無化学肥料栽培のお野菜セットと青梅のお届けをしています。

自然農の百姓になって嬉しいことは色々ありますが、何よりも、お野菜をお届けしているお客様から、嬉しい声を聞かせていただけることが一番です。そんな時はとてもやりがいを感じますし、百姓になった幸せをしみじみと感じる時でもあります。それから、お休みの日など



に娘や息子に手伝ってもらえるようになったことも嬉しいことのひとつです。今のところ農作業は僕一人で行っているのですが、田植えやお米やお芋の収穫、梅の収穫など、時間に追われるときは家族にも手伝ってもらえることがあります。もちろ

ん一人ですより二人以上ですの方が能率がうんと上がるということもありますが、それよりも家族でワイワイ言いながらする作業はとても楽しいものです。そうやって収穫したお米やお野菜を我が家でいただくのもまた格別ですし、ありがたいなと感じます。

さらに、去年あたりから、うちの田畑を見学に来てくださる友人が増えてきたことも嬉しいことです。草が一杯のうちの田畑を見られた時は、多くの方がちょっと驚かれますが、そんな畑からニンジンとかが顔を出すと感動されたりもします。今年は、見学してもらっただけでなく、そんな友人と一緒に作業ができる計画を立てたいと考えています。

## これからの2つの夢

一つは、この素晴らしい「自然農」の世界を多くの人に知っていただき、さらには体験して、実際に自分でお野菜やお米を作れるようになってもらうことです。そのために日本各地で先輩たちがされているような「自然農塾」を、来年をめぐりにうちの田畑でも整えていければと考えています。

もう一つは、梅の里『みなべ』に無農薬栽培による梅の生産の輪を拡げること。こちらは一昨年からはじめたばかりなので、まずはうちの梅畑で実践を重ねて実績を積み上げていく段階です。昨今「食の安全安心」ということに対

して人々の意識が高まってきていますが、消費者の方に農作物の栽培方法に対しても一層理



解を深めていただけるよう、生産者もしっかりと実践して発信していく必要性を感じています。これからも大きな夢を持ちながら、日々楽しく淡々と、妙(たえ)なる田畑に立ちたいと考えています。

### みなさんお待ちしています

いつでも「梅の里自然農園」にお越しください。見学や農業体験は大歓迎です。年中なんらかの作業があります。そして、農園のお野菜を食べてみてください。きっと心も体も自然な豊かさを思い出すことでしょう。

梅の里自然農園 勇惣 浩生(ゆうそう ひろお)  
〒645-0022 和歌山県日高郡みなべ町晩稲 1451  
TEL/FAX : 0739-74-2324  
Mail : konomi@sepia.ocn.ne.jp

このコーナー - に登場していただける方を募集しています。自薦他薦を問いません。メールでご連絡ください。  
『地球村』事務局 mail : tusin@chikyumura.org

訂正 3月号の五風十雨農場のHPアドレス  
<http://www.eco-phoenix.com/Gofuujyuuu/>